

教科目名 機械製図 (Machine Drawing)

学科名・学年 : 機械工学科 1年

単位数など : 必修 2単位 (前期1コマ, 後期1コマ, 学習保証時間 45時間)

担当教官 : 奥山詳三郎

授業の概要		
立体的な機械部品を製作図として表すための必要な基礎製図法を学ぶ。		
到達目標		大分高専目標 (B2), JABEE 目標(d1)
(1) 立体的な部品を図示できること。 (2) その図形に製作図として必要な図面上の基本的な指示が正しくできること。		
回	授 業 項 目	内 容
1	第1章 機械製図の基礎 1-1 機械製図と規格	機械製図に関する J I S 規格を説明し製図用具を用いて文字と線、基礎的な課題図形を書く
2	1-2 製図用具の使い方	
3	1-3 図面に用いる文字と線	
4-6	1-4 基礎的な図形の書き方	
7	前期中間試験	
8	前期中間試験の解答と解説	
8-9	1-5 投影図の書き方	部品をみて投影図、等角図、キャビネット図、展開図の課題作図を行う。
10-11	1-6 立体的な図示法	
12-13	1-7 展開図	
14	前期末試験	
15	前期末試験の解答と解説	
15-17	第2章 製作図 2-1 製作図のあらまし	前期で学習した図形の書き方を基に実際の製作図にする為のいろいろな図形の表し方を作図課題をとおして学習する。 (断面図、回転図示法、補助投影図他)
18-21	2-2 図形の表し方	
22	後期中間試験	
23	後期中間試験の解答と解説	
23-25	2-3 寸法記入法	製作図として必要な寸法記入法、公差記入法について作図課題をとおして学習する。
26-28	2-4 寸法公差	
29	学年末試験	
30	学年末試験の解答と解説	
履修上の注意	課題作図に重点をおき、検図、添削をして間違い箇所を指摘して力をつける。	
教科書	林洋次ら、「機械製図」、実教出版	
参考図書		
関連科目	機械基礎、機械実習	
評価方法	定期試験 40%, 課題・小テスト 40% (但し課題内容により重み付け配点), 授業態度 20% とし自己都合欠課は1コマあたり1点減点する。 学年末総合評価は4期の加重平均とする。	